



## 2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月15日  
東

上場会社名 ジーエルサイエンス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7705 URL <https://www.gls.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 長見 善博  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 芹澤 修 (TEL) 03-5323-6633  
 定時株主総会開催予定日 2020年6月25日 配当支払開始予定日 2020年6月26日  
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日~2020年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	25,530	2.9	2,716	△9.1	2,821	△10.2	1,633	△18.6
2019年3月期	24,800	8.1	2,988	23.6	3,139	22.5	2,006	14.8

(注) 包括利益 2020年3月期 1,703百万円(△20.1%) 2019年3月期 2,133百万円(△11.7%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	159.21	—	7.8	8.7	10.6
2019年3月期	195.54	—	10.2	10.2	12.1

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 一百万円 2019年3月期 22百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	33,091	24,742	64.6	2,085.03
2019年3月期	32,080	23,489	63.6	1,989.86

(参考) 自己資本 2020年3月期 21,392百万円 2019年3月期 20,415百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	2,233	△1,598	△132	5,325
2019年3月期	2,088	△1,218	△315	4,837

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00	410	20.5	2.1
2020年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00	307	18.8	1.5
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00		15.9	

(注) 2019年3月期期末配当金の内訳 普通配当 30円00銭 特別配当 10円00銭

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,620	7.5	1,340	11.6	1,330	7.1	770	15.6	75.18
通期	26,540	4.0	3,190	17.4	3,190	13.1	1,940	18.8	188.84

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	11,190,000株	2019年3月期	11,190,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期	930,101株	2019年3月期	930,058株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	10,259,913株	2019年3月期	10,259,968株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	14,024	5.4	1,102	8.2	1,234	5.2	956	△28.8
2019年3月期	13,310	4.1	1,019	△1.7	1,172	△6.6	1,343	27.9
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年3月期	93.24		—					
2019年3月期	130.99		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2020年3月期	19,058		15,048		79.0	1,466.74		
2019年3月期	19,292		14,638		75.9	1,426.80		

(参考) 自己資本 2020年3月期 15,048百万円 2019年3月期 14,638百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(セグメント情報等) .....	14
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	16

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業業績や雇用・所得環境の改善を背景とした設備投資や個人消費の回復が見られるなど、緩やかな回復基調にありましたが、当年度終盤で発生した新型コロナウイルス感染拡大の影響による経済活動の停滞など、今後の景気減速が懸念されます。世界経済は、米中貿易摩擦による経済の減速懸念に加え、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境下におきまして、当社グループは、中期経営計画(2018年度～2020年度)の達成に向けて、成長と収益力及び品質の向上、海外戦略の推進、人材基盤や情報管理の強化等に取り組んでまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高につきましては、25,530百万円(前連結会計年度比 2.9%増)となりました。損益につきましては、営業利益は 2,716百万円(前連結会計年度比 9.1%減)、経常利益は 2,821百万円(前連結会計年度比 10.2%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は 1,633百万円(前連結会計年度比 18.6%減)となりました。

当連結会計年度におけるセグメントの業績は次のとおりであります。

	売上高(百万円)			営業利益(百万円)		
	前連結会計年度	当連結会計年度	前期比(%)	前連結会計年度	当連結会計年度	前期比(%)
分析機器事業	14,478	15,161	4.7	1,296	1,291	△0.4
半導体事業	9,057	9,018	△0.4	1,648	1,419	△13.9
自動認識事業	1,264	1,350	6.8	40	0	99.9
小計	24,800	25,530	2.9	2,985	2,710	△9.2
消去又は全社	—	—	—	3	5	—
合計	24,800	25,530	2.9	2,988	2,716	△9.1

#### セグメント別の状況

##### (分析機器事業)

分析機器事業におきましては、海外で中国・インドの景気減速が影響し減収となりましたが、国内では受託分析、動物医薬、農薬関連の分野が好調に推移し、売上高全体では前期比で増収となりました。

装置の売上高につきましては、国内では水分析関連、システム装置、他社分析装置が好調に推移し、海外では環境関連が減収となりましたが、装置全体の売上高は前期比で増収となりました。

消耗品の売上高につきましては、国内では液体クロマトグラフ用カラム、バイアル関連が好調に推移したため増収となり、海外では中国・インド向け液体クロマトグラフ用カラム、ガスクロマトグラフ用カラムが減収となりましたが、消耗品全体の売上高は前期比で増収となりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は 15,161百万円(前連結会計年度比 4.7%増)、営業利益は 1,291百万円(前連結会計年度比 0.4%減)となりました。

##### (半導体事業)

半導体業界におきましては、2019年秋頃から、半導体メーカーおよび半導体製造装置メーカー各社の将来見通しが上昇基調に転じ、踊り場局面からの脱却も十分視野に入る状況でした。しかしながら、2020年に入り、新型コロナウイルスの感染拡大が世界各地で広がる中、足元ではスマートフォンや自動車等の最終製品の生産が停滞または需要が低迷したことで、半導体メーカーの売上見通しの下方修正が相次ぐ一方で、データセンターなどのインフラ需要は拡大すると見られており、マイナス要素とプラス要素が入り乱れる形となっています。

このような環境の中、当事業は、これまでに蓄えた豊富な受注残高を背景に、原材料の多様化等による原価率低減も相俟って、売上高・利益ともに通期計画を達成することができました。また、受注残高につきましては、年度後半から拡大傾向に転じ、足元では過去最高レベルの水準に達している状況です。

この結果、当連結会計年度の売上高は 9,018百万円(前連結会計年度比 0.4%減)、営業利益は 1,419百万円(前連結会計年度比 13.9%減)となりました。

(自動認識事業)

自動認識事業におきましては、医療機器関連、アクセスコントロール関連が堅調に推移し、各種開発案件の受注が決定するなどの好材料があった半面、新製品の開発が遅れ、顧客の要望に十分に答えられない状況となりました。

製品分類毎の売上高では、「モジュール」は医療機器・警備機器関連向けが好調に推移し、前期を上回りました。「完成系製品」では新型インテリジェントターミナルの完成が遅れましたが、卓上型、壁付型は堅調に推移し、前期を上回りました。「ソリューション」は大型案件の受注が出来たこともあり、前期を上回りました。「タグカード」はOEM製品が軌道に乗らず、前期を下回りました。

この結果、当連結会計年度の売上高は 1,350百万円(前連結会計年度比 6.8%増)、損益につきましては利益率の低い案件の売上や品質向上改革のための経費増加が影響し、営業利益は 0百万円(前連結会計年度比 99.9%減)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産の状況)

当連結会計年度末の流動資産は現金及び預金の増加などにより20,398百万円(前連結会計年度末に比べ 705百万円の増加)となりました。固定資産は建設仮勘定の増加などにより 12,692百万円(前連結会計年度末に比べ 306百万円の増加)となりました。その結果、資産合計では 33,091百万円(前連結会計年度末に比べ 1,011百万円の増加)となりました。

(負債の状況)

当連結会計年度末の流動負債は支払手形及び買掛金の減少などにより 6,292百万円(前連結会計年度末に比べ 395百万円の減少)となりました。固定負債は長期借入金の増加などにより 2,056百万円(前連結会計年度末に比べ 154百万円の増加)となりました。その結果、負債合計では 8,348百万円(前連結会計年度末に比べ 241百万円の減少)となりました。

(純資産の状況)

当連結会計年度末の純資産合計は利益剰余金の増加などにより 24,742百万円(前連結会計年度末に比べ 1,253百万円の増加)となりました。自己資本比率は 64.6%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ 487百万円増加し 5,325百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な増減要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは 2,233百万円(前連結会計年度に比べ 144百万円の増加)となりました。

これは主に税金等調整前当期純利益 2,761百万円の計上、減価償却費 1,070百万円などによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは △1,598百万円(前連結会計年度に比べ △379百万円の減少)となりました。

これは主に有形固定資産の取得による支出 1,341百万円などによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは △132百万円(前連結会計年度に比べ 182百万円の増加)となりました。

これは主に長期借入金の返済による支出 500百万円、配当金の支払額 410百万円などによります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率(%)	65.3	64.7	64.2	63.6	64.6
時価ベースの 自己資本比率(%)	24.8	42.5	57.8	49.8	30.5
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率(%)	1.5	1.1	1.4	1.2	1.3
インタレスト・ カバレッジ・レシオ(倍)	62.3	111.8	84.5	99.7	98.9

自己資本比率：自己資本÷総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額÷総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債÷営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー÷利払い

(注1) 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

(注2) 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いにつきましては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(注4) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当連結会計年度の期首から適用しており、2018年3月期については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

#### (4) 今後の見通し

今後の経済見通しについては、全世界で新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が猛威を振っているため、都市のロックダウンや外出禁止もしくは自粛要請が広まり、引き続き先行き不透明な状況が続くものと見込んでおります。

このような中で当社グループは、経営環境の変化に迅速に対応し、中期経営計画(2018年度～2020年度)の各施策を遂行することにより、更なる経営基盤の強化と企業価値の増大を図ってまいります。

なお、当社グループにおける新型コロナウイルスの影響につきましては、中国子会社も含め、現時点で大きな問題は発生しておりませんが、今後の様々な事態を想定し事業継続に向けて必要な対応を実施してまいります。

##### (分析機器事業)

分析機器事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により見通しが定かではない状況であります。特に海外市場の中国、インド、欧米では外出禁止令が発令されるなど、見通しとしては不透明な状況が続いております。

当事業は、成長牽引製品の事業競争力を強化するとともに新たな事業を継続的に創出してまいります。また、物流関連の整備を推進し、更なる納期短縮を実現してまいります。

国内におきましては、高付加価値製品の拡販、アフターサービスの強化、新たな顧客層の掘り起こし、ICT(情報通信技術)の活用を図り、更なる拡販を目指します。

海外におきましては、引き続き中国・インド市場に注力してまいります。また、グループ企業間のアライアンスを強化し、新型コロナウイルスの影響下、Webシステムを用いた効果的な営業展開を模索してまいります。

2020年度は現中期経営計画の最終年度として、事業基盤の整備と事業戦略をさらに推進し、「持続的に発展し続ける仕組み作り」の実現を目指します。

当事業の次期の見通しは、売上高 15,650百万円(前連結会計年度比 3.2%増)、営業利益 1,650百万円(前連結会計年度比 27.9%増)を見込んでおります。

(半導体事業)

半導体業界におきましては、新型コロナウイルスによるマクロ経済の低迷に引きずられて落ち込む局面もあると予想されますが、一方で、本格化した世界的なリモートワークの広がりやデータセンター等メモリー需要の高まりなど、プラス要因も強いと見込まれます。また、既に一部で始まっている5G通信やIoT、AI/ディープラーニング、自動運転の本格化等でデータ量の更なる増加が見込まれ、中長期的な半導体需要のトレンドは引き続き拡大していくものと予想されます。

このような状況下、当事業の受注環境は、足元では過去最高レベルの水準に達しており、中長期的な受注拡大の見通しは変えておりません。また、既存のお取引先との深耕を図ると共に、新規のお取引先の需要の掘り起こしに努めます。さらに、従来からの微細化投資に加え、今後の需要拡大を見越して、国内および中国子会社工場において増産体制構築のための設備投資を順次進めてまいります。

当事業の次期の見通しは、売上高 9,330百万円(前連結会計年度比 3.4%増)、営業利益 1,470百万円(前連結会計年度比 3.6%増)を見込んでおります。

(自動認識事業)

自動認識事業におきましては、特に医療市場の拡大が進むと捉えております。しかしながら、新型コロナウイルスの影響で電子部品の調達が困難になることが予測され、需要をより早く把握し効率的な調達、製造が鍵となります。

「モジュール」では医療市場の拡大に加え、個人情報を含む運転免許証やマイナンバーカードの普及が加速し市場が拡大していくものと考えており、競合他社との差別化を図ることで安定した収益確保を目指します。

「完成系製品」では、協業組織である「CLUB CENTi0」、「AcCENTi0の会」を通じて、入退室コントロールシリーズの拡販を継続すると共に、新型インテリジェントターミナルシリーズがリリースされることで文教市場、勤怠市場へのさらなる導入を目指してまいります。

当事業の次期の見通しは、売上高 1,560百万円(前連結会計年度比 15.6%増)、営業利益 70百万円(前連結会計年度比 — )を見込んでおります。

2021年3月期の連結業績の見通しにつきましては、次のとおりです。

(連結業績の見通し)

売上高	26,540百万円	(前連結会計年度比 4.0%増)
営業利益	3,190百万円	(前連結会計年度比 17.4%増)
経常利益	3,190百万円	(前連結会計年度比 13.1%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	1,940百万円	(前連結会計年度比 18.8%増)

なお、上記の連結業績の見通しにつきましては、新型コロナウイルスによる影響が一定期間で収束に向かうと仮定したものであり、状況により変動する可能性があります。業績予想の修正の必要が発生した場合には速やかに開示いたします。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,415,249	5,891,020
受取手形及び売掛金	8,422,206	8,428,722
商品及び製品	1,573,828	1,664,197
仕掛品	1,795,034	2,147,955
原材料及び貯蔵品	2,188,812	2,148,571
その他	302,376	144,785
貸倒引当金	△3,602	△26,342
流動資産合計	19,693,904	20,398,910
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,469,506	8,595,756
減価償却累計額	△4,538,414	△4,697,820
建物及び構築物（純額）	3,931,092	3,897,936
機械装置及び運搬具	6,874,101	7,024,392
減価償却累計額	△4,583,580	△4,940,690
機械装置及び運搬具（純額）	2,290,521	2,083,702
土地	3,406,791	3,406,791
建設仮勘定	70,787	583,045
その他	2,555,009	2,613,176
減価償却累計額	△2,017,492	△2,051,206
その他（純額）	537,517	561,969
有形固定資産合計	10,236,709	10,533,445
無形固定資産	369,107	351,959
投資その他の資産		
投資有価証券	1,232,706	1,042,294
その他	548,846	766,530
貸倒引当金	△1,267	△1,731
投資その他の資産合計	1,780,285	1,807,094
固定資産合計	12,386,102	12,692,499
資産合計	32,080,006	33,091,409



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,422,572	3,025,995
短期借入金	1,239,338	1,425,179
未払法人税等	636,738	306,734
賞与引当金	533,873	565,811
その他	855,621	968,640
流動負債合計	6,688,144	6,292,361
固定負債		
長期借入金	1,246,508	1,425,209
再評価に係る繰延税金負債	97,024	97,024
役員退職慰労引当金	88,432	86,361
その他	470,254	447,746
固定負債合計	1,902,220	2,056,342
負債合計	8,590,364	8,348,704
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,207,795	1,207,795
資本剰余金	1,820,591	1,820,956
利益剰余金	17,532,192	18,755,279
自己株式	△509,262	△509,326
株主資本合計	20,051,316	21,274,704
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	356,000	224,198
繰延ヘッジ損益	△2,618	41
土地再評価差額金	△312,234	△312,234
為替換算調整勘定	215,328	152,594
退職給付に係る調整累計額	108,100	52,910
その他の包括利益累計額合計	364,577	117,510
非支配株主持分	3,073,748	3,350,489
純資産合計	23,489,642	24,742,705
負債純資産合計	32,080,006	33,091,409

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	24,800,749	25,530,477
売上原価	16,044,973	17,015,989
売上総利益	8,755,775	8,514,488
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,684,546	1,739,071
賞与引当金繰入額	263,676	282,920
退職給付費用	109,641	17,119
役員退職慰労引当金繰入額	19,987	29,533
試験研究費	757,082	768,208
その他	2,931,880	2,961,383
販売費及び一般管理費合計	5,766,815	5,798,237
営業利益	2,988,959	2,716,250
営業外収益		
受取利息	2,812	2,745
受取配当金	26,623	28,109
持分法による投資利益	22,454	—
為替差益	71,573	12,901
還付金収入	—	23,358
補助金収入	13,727	20,590
その他	47,010	42,946
営業外収益合計	184,202	130,651
営業外費用		
支払利息	21,051	22,387
債務勘定整理損	7,868	—
その他	4,382	3,401
営業外費用合計	33,302	25,789
経常利益	3,139,860	2,821,112
特別利益		
固定資産売却益	199	299
関係会社株式売却益	311,084	—
投資有価証券売却益	9,139	—
特別利益合計	320,424	299
特別損失		
匿名組合投資損失	—	10,602
固定資産除却損	37,155	21,512
投資有価証券評価損	—	27,501
特別損失合計	37,155	59,617
税金等調整前当期純利益	3,423,129	2,761,795
法人税、住民税及び事業税	1,026,398	739,333
法人税等調整額	△10,201	47,842
法人税等合計	1,016,197	787,175
当期純利益	2,406,931	1,974,619
非支配株主に帰属する当期純利益	400,709	341,134
親会社株主に帰属する当期純利益	2,006,222	1,633,485

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	2,406,931	1,974,619
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△129,739	△128,020
繰延ヘッジ損益	13,014	2,660
為替換算調整勘定	△177,195	△90,095
退職給付に係る調整額	39,956	△55,189
持分法適用会社に対する持分相当額	△19,473	—
その他の包括利益合計	△273,437	△270,645
包括利益	2,133,494	1,703,974
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,798,236	1,386,418
非支配株主に係る包括利益	335,257	317,555

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,207,795	1,820,591	15,833,769	△509,207	18,352,948
当期変動額					
剰余金の配当			△307,799		△307,799
親会社株主に帰属する当期純利益			2,006,222		2,006,222
自己株式の取得				△54	△54
連結子会社の自己株式の取得による持分の増減					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,698,423	△54	1,698,368
当期末残高	1,207,795	1,820,591	17,532,192	△509,262	20,051,316

	その他の包括利益累計額						非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	479,096	△15,633	△312,234	353,189	68,143	572,562	2,765,014	21,690,525
当期変動額								
剰余金の配当								△307,799
親会社株主に帰属する当期純利益								2,006,222
自己株式の取得								△54
連結子会社の自己株式の取得による持分の増減								—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△123,095	13,014	—	△137,860	39,956	△207,985	308,733	100,748
当期変動額合計	△123,095	13,014	—	△137,860	39,956	△207,985	308,733	1,799,116
当期末残高	356,000	△2,618	△312,234	215,328	108,100	364,577	3,073,748	23,489,642

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,207,795	1,820,591	17,532,192	△509,262	20,051,316
当期変動額					
剰余金の配当			△410,397		△410,397
親会社株主に帰属する当期純利益			1,633,485		1,633,485
自己株式の取得				△64	△64
連結子会社の自己株式の取得による持分の増減		364			364
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	364	1,223,087	△64	1,223,387
当期末残高	1,207,795	1,820,956	18,755,279	△509,326	21,274,704

	その他の包括利益累計額						非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	356,000	△2,618	△312,234	215,328	108,100	364,577	3,073,748	23,489,642
当期変動額								
剰余金の配当								△410,397
親会社株主に帰属する当期純利益								1,633,485
自己株式の取得								△64
連結子会社の自己株式の取得による持分の増減								364
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△131,802	2,660	—	△62,734	△55,189	△247,066	276,741	29,675
当期変動額合計	△131,802	2,660	—	△62,734	△55,189	△247,066	276,741	1,253,062
当期末残高	224,198	41	△312,234	152,594	52,910	117,510	3,350,489	24,742,705

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	3,423,129	2,761,795
減価償却費	872,743	1,070,531
のれん償却額	30,241	30,241
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,812	31,938
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	877	23,267
退職給付に係る資産負債の増減額	89,085	△87,268
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	9,413	△7,077
受取利息及び受取配当金	△29,436	△30,855
支払利息	21,051	22,387
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	27,501
固定資産除却損	37,155	21,512
匿名組合投資損益 (△は益)	—	10,602
売上債権の増減額 (△は増加)	△519,590	△21,028
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△902,904	△427,050
仕入債務の増減額 (△は減少)	357,304	△430,544
関係会社株式売却損益 (△は益)	△311,084	—
その他	△205,404	249,867
小計	2,870,768	3,245,822
利息及び配当金の受取額	49,906	30,869
利息の支払額	△20,961	△22,587
法人税等の支払額	△810,849	△1,020,392
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,088,864	2,233,712
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△526,947	△513,747
定期預金の払戻による収入	624,799	525,656
有形固定資産の取得による支出	△1,968,813	△1,341,379
有形固定資産の売却による収入	200	893
無形固定資産の取得による支出	△40,263	△47,730
投資有価証券の取得による支出	△1,424	△12,304
貸付けによる支出	△13,400	△2,000
貸付金の回収による収入	10,793	7,377
関係会社株式の売却による収入	616,000	—
その他	80,858	△214,784
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,218,198	△1,598,019

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△329,538	150,000
長期借入れによる収入	895,935	715,187
長期借入金の返済による支出	△515,507	△500,645
自己株式の取得による支出	△54	△64
子会社の自己株式の取得による支出	—	△664
リース債務の返済による支出	△31,997	△46,120
配当金の支払額	△307,552	△410,269
非支配株主への配当金の支払額	△26,446	△39,651
財務活動によるキャッシュ・フロー	△315,161	△132,227
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12,672	△15,784
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	542,831	487,680
現金及び現金同等物の期首残高	4,295,018	4,837,850
現金及び現金同等物の期末残高	4,837,850	5,325,530

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業の種類別単位で、日本及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、「分析機器事業」、「半導体事業」及び「自動認識事業」の3つを報告セグメントとしております。

「分析機器事業」は、ガスクロマトグラフ及び液体クロマトグラフ製品等の製造・販売を行っております。「半導体事業」は、半導体用石英治具、光学研磨及び分光光度計用石英セル製品等の製造・販売を行っております。

「自動認識事業」は、非接触ICカード及びその周辺機器製品の製造・販売を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	分析機器事業	半導体事業	自動認識事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,478,819	9,057,599	1,264,330	24,800,749	—	24,800,749
セグメント間の内部 売上高又は振替高	39	63,803	10,047	73,890	△73,890	—
計	14,478,859	9,121,402	1,274,377	24,874,639	△73,890	24,800,749
セグメント利益	1,296,930	1,648,150	40,180	2,985,261	3,697	2,988,959
セグメント資産	18,841,569	12,029,295	1,221,243	32,092,109	△12,102	32,080,006
セグメント負債	4,882,722	3,131,898	584,471	8,599,092	△8,727	8,590,364
その他の項目						
減価償却費	321,084	539,600	13,100	873,784	△1,041	872,743
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,369,218	954,842	10,418	2,334,479	△1,842	2,332,636

(注) 1 調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。



当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	分析機器事業	半導体事業	自動認識事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,161,635	9,018,459	1,350,382	25,530,477	—	25,530,477
セグメント間の内部 売上高又は振替高	131	64,294	13,725	78,152	△78,152	—
計	15,161,767	9,082,754	1,364,108	25,608,629	△78,152	25,530,477
セグメント利益	1,291,686	1,419,139	32	2,710,857	5,392	2,716,250
セグメント資産	18,646,598	13,318,895	1,140,821	33,106,315	△14,905	33,091,409
セグメント負債	4,235,450	3,613,848	511,164	8,360,464	△11,759	8,348,704
その他の項目						
減価償却費	476,675	573,477	21,436	1,071,588	△1,056	1,070,531
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	902,076	491,230	39,146	1,432,453	△725	1,431,727

(注) 1 調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり純資産額及び算定上の基礎並びに1株当たり当期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
(1) 1株当たり純資産額	1,989円86銭	2,085円03銭
(算定上の基礎)		
純資産の部の合計額(千円)	23,489,642	24,742,705
普通株式に係る純資産額(千円)	20,415,894	21,392,215
差額の主な内訳(千円)		
非支配株主持分	3,073,748	3,350,489
普通株式の発行済株式数(株)	11,190,000	11,190,000
普通株式の自己株式数(株)	930,058	930,101
1株当たり純資産額の算定に用いられた 普通株式の数(株)	10,259,942	10,259,899

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
(2) 1株当たり当期純利益	195円54銭	159円21銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	2,006,222	1,633,485
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	2,006,222	1,633,485
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式の期中平均株式数(株)	10,259,968	10,259,913

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。